

基本方針（案）

未来構想実践会議
公益法人取得グループ
副議長 安藤 克敏

私たちの生活環境や価値観、社会情勢が変化する中で、最近は無関心の時代とよく耳にします。しかしながら、こんな時代だからこそ、われわれは110年ぶりに抜本的に改革された公益法人制度改革関連法に則り、公益社団法人格を取得し、これまで以上に公益性の追求に努め、地域から信頼を受ける組織へと変革し社会の負託と信頼に応えて、明るい豊かな社会実現を目指します。

われわれの運動のさらなる昇華のために組織進化（公益社団法人格取得）が必要とされております。それは「JCもある時代」から「JCがある時代」に向けて動き出し公益社団法人としての役割を認識して、地域の未来を考え公益性の追求に徹して行くものだと考えております。しかし、公益性の追求に意識が偏りすぎてわれわれが目指す「明るい豊かな社会」の実現に向けた本来のJC運動の可能性を摘んでしまわないよう、LOMメンバー全員を巻き込んで、JCの設立目的や存在意義は何か、何のためにJC運動を行っているのか、社団法人寒河江青年会議所が誕生した時の精神や先輩方の思い、われわれがこの西村山で担っている役割を再確認し原点に戻ること、自然にJCの本質が見えてくると考えております。まさしく、原点に戻り本質を見極めることで地域に頼られ求められる希望に満ちた生き甲斐のある「まち」になり、地域のみなさまより我々の運動に対して共感してもらえるものと確信しております。

最後に、一人ひとりが地域のリーダーとしての自覚を持ち、～未来を創る志～を胸に抱き、地道で正直な姿を示し実践して行くことで、愛する郷土西村山より負託と信頼を築いてまいります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27